

事業所名

アストハピコ・アストハピコ人形町教室

支援プログラム

作成日

2025年

3月

27日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-----|----|---------|-----|---|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 大脳生理学のロジックを基に「応用行動分析」を部分的に取り入れた療育方法を採用しています。幼少期から早期療育を始めることで「できた！」が増え、未就学児童から入学後までの一貫療育で「自主性」「見る力」「考える力」「協調性」を育てます。 | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 発達に不安のあるお子様や困難をお持ちのお子様が進んでできなかったことや不得意だったことができるようになり、特徴を捉えてカスタマイズされたプログラムで好きを伸ばして「できた！」を増やす。成功体験を自信に繋げ習慣化する療育を行っている。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 11時 | 00分 | から | 18時 | 00分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 日々の生活の中で求められる身辺自立のために必要なトレーニングを中心にを行います。靴をはくために必要なつまんで引っ張りをはめる、デキない行動が発生して助けを求める時の伝え方、などを具体的に伝えデキることを増やします。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 発達年齢に応じた身体の基本能力向上のために、バランスボール・トランポリン・ボールなどを用いて身体全体を使ってつくる粗大運動、発達を促す積み木・パズル・紐通しなど指先や手のひらなどで目で見たものを小さな筋肉で動かす微細運動のトレーニングを行います。イメージした感覚で身体を動かす能力へと結び付けます。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 生活の中で接している、目の前にある物の名前や色・大小・長短など、認知の概念形成を中心に確立していきます。行動する前に話している人の指示を聞く、順番を待つ、時計をみて時間で行動できるためのトレーニングを行います。 | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 絵カードや具体物などの教材を活用して音から語、語から単語、単語から2～3語文へ、ハッキリした音を表出するトレーニングを行います。語彙力を増やし、日常体験などを言葉の理解と結びつけることで、他者へ気持ちの伝え方を練習していきます。 | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 園や学校などの集団の場において必要な能力をソーシャルスキルトレーニングを通して向上を図ります。小集団の中でルールに沿った行動、気持ちを言葉で伝える練習、相手の気持ちの理解、場に応じた行動の練習などを一緒に考えていきます。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 発達に凸凹感をお持ちのご家族が安心して子育てができるために寄り添い、心配事や抱えている不安などの相談を適切にアドバイスすることでご家族をサポートします。 | | | 移行支援 | | 地元行事の参加などの地域交流を通して、さまざまな子供達が成長できるよう保育園・幼稚園から小学校へ、小学校から中学校への成長過程で情報を共有し、協力して環境を構築する。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | | 病院、地域の児童発達支援センター、保育所、学校などの関連機関と連携を取り合い、子どもの発達をサポートしていきます。 | | | 職員の質の向上 | | 定期的に社内研修・外部研修への参加でスキルや知識の向上につなげる。他の職員とコミュニケーションを円滑にはかり、小さな目標を積み重ねて収入に反映することで達成感を高める方向で進めています。 | | | |
| 主な行事等 | | 四季を感じる教材を用いて個別に課題を支援していきます。 | | | | | | | | |